2　地理歴史・公民

学校番号	１１９

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「日本史Ａ　現代からの歴史」　（東京書籍）						
副教材等	「図説　日本史通覧」（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業開始時に「本時の学習のめあて」を示します。それを手がかりに学習に取り組みましょう。
・歴史的事象に「なぜ」の視点を持ち、自分なりの意見を考え、共有しましょう。
・歴史を背景とした世界の諸事情を踏まえ、現在の日本のあり方を考えましょう。
・ワークシート、ノート、課題などの提出物の期限は必ず守りましょう。

2　学習の到達目標

・世界史Ａの学びを踏まえ、諸資料に基づき地理的条件等と結びつけて現代の諸課題に着目し、歴史的思考力を培い専門性を深める。
・近現代の歴史的事象について、原因・経過・影響などを考察するとともに、国際社会に主体的に生きる自覚と資質を養う。
・映像などの補助教材やワークシートを活用し、歴史知識や応用できる力を身につける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とする日本の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	近現代の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	近現代史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	近現代史についての基本的な事柄を、地理的条件や国際環境と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート 提出物 授業での観察 グループワーク	定期考査 提出物 授業での観察	定期考査 提出物 授業での観察	定期考査 提出物 授業での観察
	〔主題学習〕 振り返りシート	〔主題学習〕 論述	〔主題学習〕 レポート 年表作成	〔主題学習〕 レポート 地図作成
	※「主題学習」とは主題を設定して行う学習活動で、適切な時間を確保して行う。			

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	私たちの時代と歴史	・近現代の歴史的事象と現在との結びつきを考える ・近現代史の流れを諸資料から大きくとらえる ・身近な生活文化や新聞記事から、現代社会の課題について考える ・地域の博物館、資料館の展示から歴史を考察する	○ ○	 ○ 	 ○ ○ ○	○ 	a:自然環境と歴史、日本の歴史と世界の歴史のつながりに関わる主題を意欲的に考察し、歴史への関心を高めようとしている。 b:設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:設定された主題について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	ワークシート 授業態度
	近代の日本と世界	・近代国家の形成と国際関係の推移 ・ｱｼﾞｱ世界の変動 ・開国と幕末の政治情勢	 ○	○ ○ 	 ○ 	○ ○	a:１９世紀の西欧の進出によるｱｼﾞｱの変化について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:国内の問題と対外的な危機について多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:１９世紀の国際情勢の特質について理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 授業態度 ワークシート ノート提出
	明治維新	・明治維新と文明開化 ・明治初期の対外関係 ・自由民権運動と初期議会 ・政党の役割 ・条約改正交渉、日清戦争	○ ○ 	 ○ ○ ○	○ ○	 ○ ○ ○ ○	a:中央集権の仕組みが整備されていく経緯や産業革命の進行を学ぶ。 b:設定された時代の世相や文化の特質を見いだし、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:設定された時代の世相や文化の特質を見いだし、多面的・多角的に考察し、諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:近代国家の形成過程を、日本をめぐる国際関係と関連づけて考察理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 授業態度 ワークシート ノート提出

2学期	第一次世界大戦と日本	・日露戦争、第一次世界大戦 ・大戦による社会の変化 ・大正デモクラシーと大衆文化 ・政党政治の時代 ・護憲三派内閣 ・昭和恐慌と深刻な不況 ・満州事変と満州国	○ ○ ○ ○	 ○ ○ 	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:国際情勢の変化と日本の動向に関して当時の政治、経済、文化に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:国際社会の変貌の特質を見いだし、多面的・多角的に考察し、公正に判断して諸事象の過程や結果を適切に表現している。 c:世界の変貌に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:日本の情勢の動向についての基本的な事柄を、国際情勢の変化と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 授業態度 ワークシート ノート提出 課題
	第二次世界大戦と国民生活	・軍部の台頭と二二六事件 ・日中全面戦争 ・国家総動員 ・第二次世界大戦 ・戦局の悪化	 ○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○	a:二つの世界大戦の原因や影響と平和の意義などに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:20世紀初頭にみられた社会の急激な変化の具体的な様相や、二つの世界大戦の原因や影響と平和の意義について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:20世紀という時代の特質、二つの世界大戦の原因や総力戦としての性格、両大戦の影響と平和の意義などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:20世紀という時代の基本的な事柄や、二つの世界大戦の原因や総力戦としての性格についての基本的な事柄を、両大戦の影響と平和の意義などと関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 授業態度 ワークシート ノート提出

3学期	第二次世界大戦後の世界と日本	・日本の降伏 ・戦後改革の開始 ・冷戦下の講和 ・高度経済成長 ・現代の世界	 ○ ○	○ ○ 	 ○ ○	○ ○ ○ ○ 	a:第二次世界大戦後の世界について、現在まで続く課題に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている b:第二次世界大戦後の諸地域世界について、現在の政治・経済の動向と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:国民生活の変化や地域史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:第二次世界大戦後の民主的改革や国際情勢の変化についての基本的な事柄を、世界の政治・経済の動向と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 授業態度 ワークシート ノート提出 課題
	現代からの探求	〔主題学習〕 ・時事問題、近代化遺産など ・調査方法 ・資料収集 ・成果報告	○ 	 ○	 ○ ○ 	 ○ ○	a:現代の諸課題を、近現代史を中心とする歴史と結び付け、歴史的観点に基づいて意欲的に追究しようとしている。 b:考察した結果をレポートにまとめ、自分の意見を正確に伝えることができる。 c:現代の諸課題を、近現代史を中心とする歴史と結び付け、必要な情報を収集し図表にまとめたりしている。 d:現代の諸課題に関する知識を身に付けている。	レポート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。